科目名 (Eng)	原価計算(Cost Accounting)
担当教員	渡部 美紀子

対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報学科	4	後期	必修	2	(30)	専門	A	○

目標基準との対応	
	福島高専の教育目標との対応:(B-4). (C-1). (D-1).
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応:3). 4).
	JABEE基準1(1)との対応:d(1). d(2), d(4), g, h.

授業の概要と方針	本講義では，全経工業簿記1級レベルの工業簿記・原価計算の内容を学習する。さらに，原価計算基準等の会計法規についても学習する。
到達目標	①製造業の勘定の連関を理解出来る。 ②製造原価報告書の作成が出来る。 ③製造業の損益計算書・貸借対照表の作成が出来る。 ④簿記検定能力試験1級工業簿記の取得を目指し，検定レベルの問題を解くことが出来る。

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	準備学習
後期	16	総合原価計算(1)	総合原価計算の流れ	前回の学習を踏まえ，授業で説明した問題について，同種の問題を解いて理解しておくこと。
	17	総合原価計算(2)	単純総合原価計算	
	18	総合原価計算(3)	組別総合原価計算	
	19	総合原価計算(4)	等級別総合原価計算	
	20	総合原価計算(5)	工程別総合原価計算	
	21	工業簿記の財務諸表(1)	損益計算書，貸借対照表	
	22	工業簿記の財務諸表(2)	製造原価報告書	
	23	復習	これまでの復習	
	24	標準原価計算(1)	材料差異，労務費差異	
	25	標準原価計算(2)	製造間接費差異	
	26	直接原価計算	変動費，固定費	
	27	本社工場会計	本社勘定，工場勘定	
	28	個別原価計算	部門別原価計算	
	29	1級工業簿記試験問題演習	模擬問題	
	30	復習	総合演習	

試験について	後期試験は実施する。
評価方法	定期試験70%，課題30%で総合的に評価する。
教科書	『日商簿記2級　とおるテキスト工業簿記』ネットスクール出版，『完全分類　全経簿記，1級工業簿記』英光社，『全経簿記　改訂ワークブック，1級工業簿記』英光社;配付資料
参考書	
関連科目	
履修上の注意	類問を解き，過去問に挑戦し，出来る限り多くの問題を繰り返し解くことにより学習効果が高まる。制限時間内に検定問題が解けるようになるには，積極的な自己学習が必要である。自学自習の確認方法―学生に課題を与え，定期的に提出させる。